

## 輸送動向について(4月分)

平成21年5月

### 1. 輸送概況

今月は、中旬に東海道線の輸送障害が発生し、高速貨2本が運休したが、前月に続き大きな輸送障害もなく、比較的安定した輸送状況であった。

荷動きについては、在庫調整の進展等も見られ、前月に比べ多少改善したものの、景気低迷の影響は継続しており、低調に推移した。

コンテナ貨物では、減産幅は縮小したものの生産調整が続く自動車部品、化学工業品、化学薬品、紙・パルプなどすべての品目が前年を下回り、全体では前年比84.0%となった。

車扱貨物では、石油、セメント・石灰石などすべての品目が前年を下回り、全体では前年比84.3%となった。石油については、揮発油が堅調な出荷となったものの、前年は暫定税率の廃止等による需要増があったことから、減送となった。その他の油種についても生産活動の低迷及び燃料転換の影響を受け前年を下回った。セメント・石灰石は建築需要の低迷等により減送となった。

### 2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別	月計		前年比
	本年実績	前年実績	
コンテナ	1,691	2,014	84.0%
車扱	856	1,015	84.3%

### 3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

種別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	164	173	-9	94.8%
	化学工業品	153	192	-39	79.7%
	化学薬品	115	144	-29	79.9%
	食料工業品	296	306	-10	96.7%
	紙・パルプ	253	324	-71	78.1%
	他工業品	113	152	-39	74.3%
	積合せ貨物	202	223	-21	90.6%
	自動車部品	41	71	-30	57.7%
	家電・情報機器	29	32	-3	90.6%
	エコ関連物資	27	32	-5	84.4%
	その他	298	365	-67	81.6%
	コンテナ計	1,691	2,014	-323	84.0%
車扱	石油	557	676	-119	82.5%
	セメント・石灰石	114	135	-21	84.3%
	車両	88	106	-18	83.2%
	その他	96	98	-2	98.0%
	車扱計	856	1,015	-159	84.3%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)